

2020年1月30日
株式会社日本政策金融公庫

第203回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2019年10～12月期実績、2020年1～3月期見通し)

[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや悪化している。
～景況は弱い動きが見られるものの、先行きについては持ち直しの見込み～

- 【金融関連】
- 資金繰りD.I.は、▲11.8とマイナス幅がやや拡大した。
 - 借入難易感D.I.は、▲1.6と横ばいとなった。
 - 今期に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。
- 【保証利用】
- 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は増加した。
 - 来期(20年1～3月)における保証利用要請D.I.は、1.2と横ばいとなった。
 - ※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】
- 生産・売上D.I.は、▲15.1とマイナス幅が拡大した。
 - 採算D.I.は、▲14.0とマイナス幅が拡大した。

<調査の要領>

調査時点	2019年12月中旬
調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約80%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
有効回答企業数	3,716企業
回答率	23.2%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:宮本、山嶋、佐藤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲11.8とマイナス幅がやや拡大した。

		2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12	2020/1-3
資金繰りD.I.	実績	▲4.7	▲6.1	▲10.3	▲9.0	▲11.8	
	見通し	▲0.7	▲0.5	▲4.7	▲6.0	▲5.9	▲7.2

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

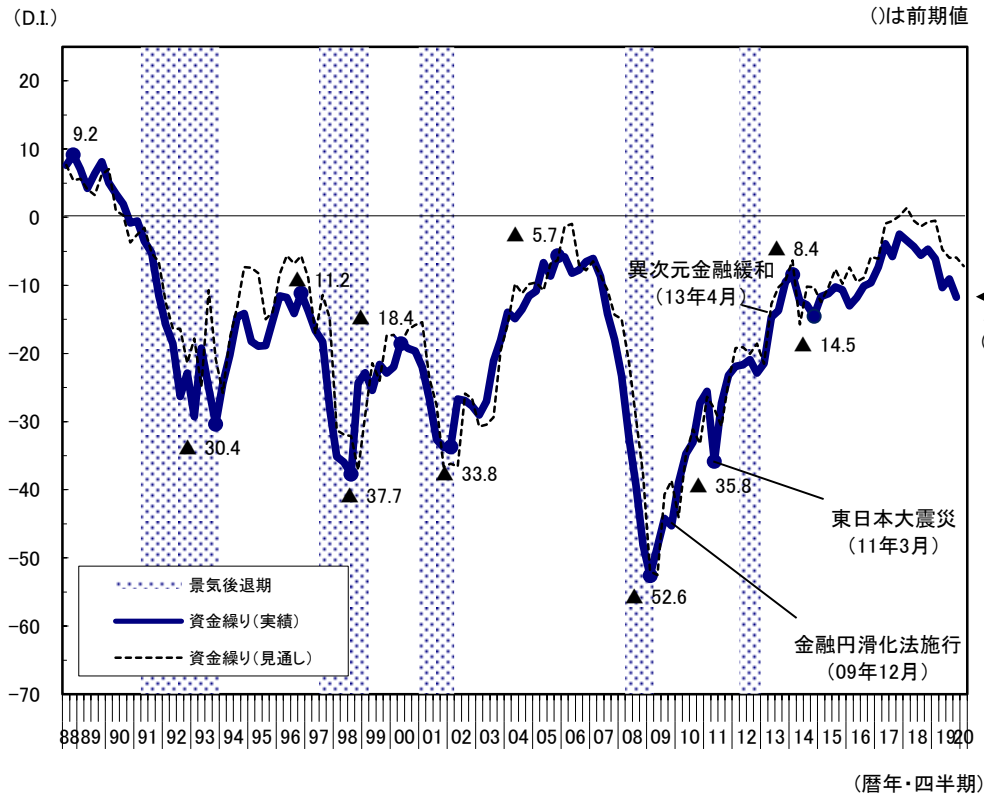
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲1.6と横ばいとなった。

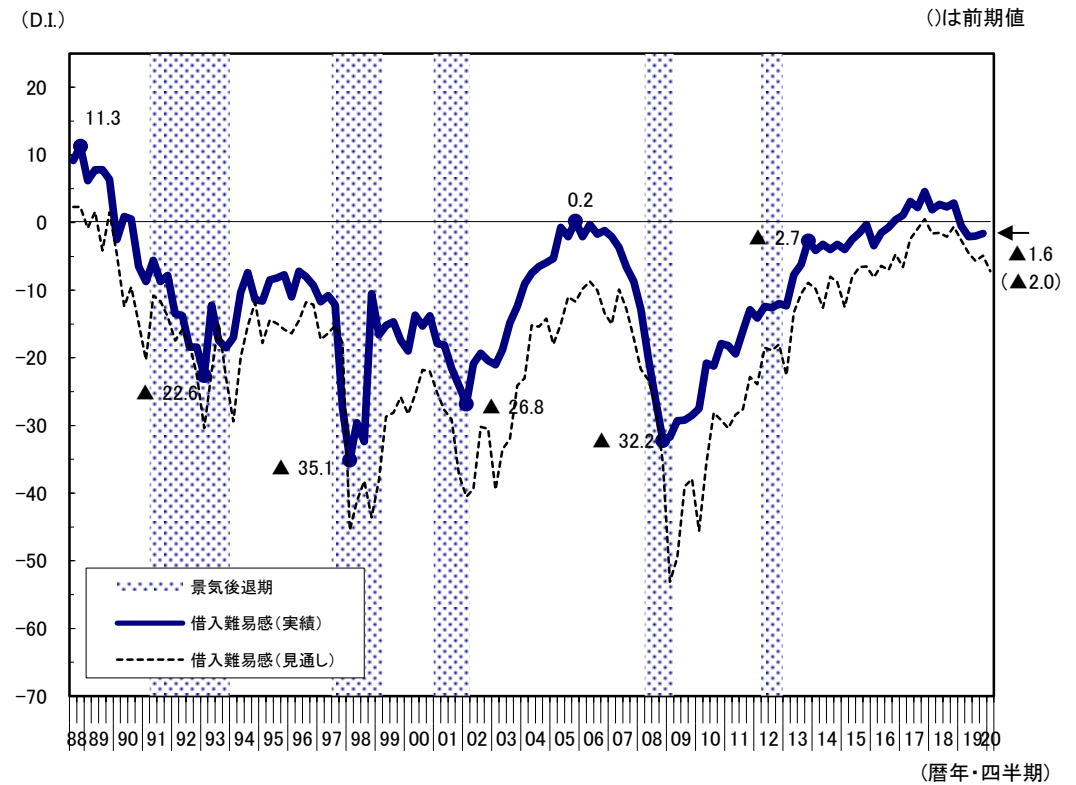
		2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12	2020/1-3
借入難易感D.I.	実績	2.9	▲0.5	▲2.1	▲2.0	▲1.6	
	見通し	▲0.6	▲2.6	▲4.5	▲5.7	▲4.9	▲7.2

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。

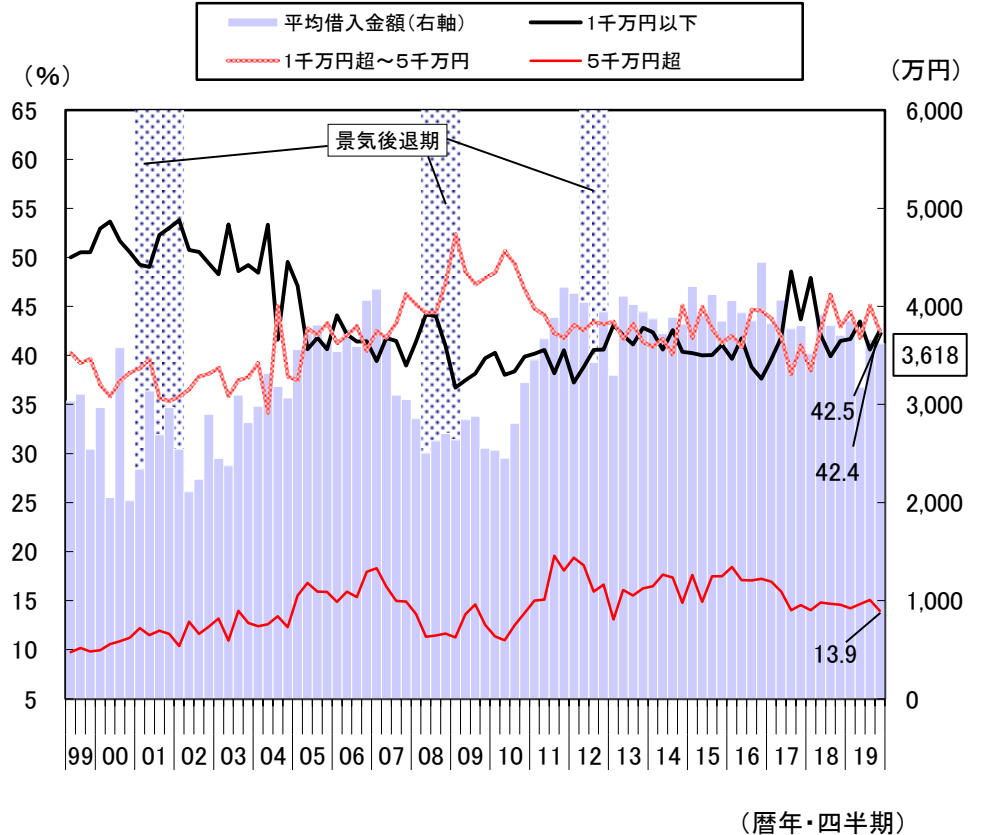
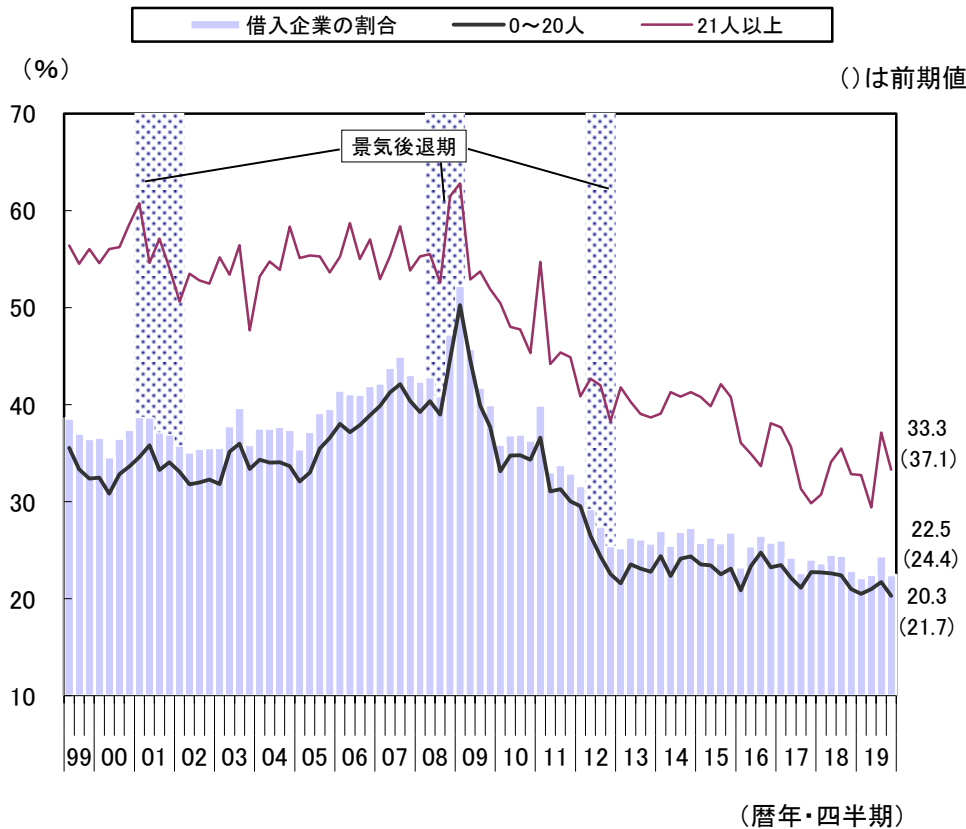
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」がやや増加した
一方で、「1千万円超～5千万円」及び「5千万円超」がやや減少した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
借入企業の割合	22.9	22.2	22.5	24.4	22.5
0-20人	21.0	20.5	21.0	21.7	20.3
21人以上	32.8	32.7	29.4	37.1	33.3

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

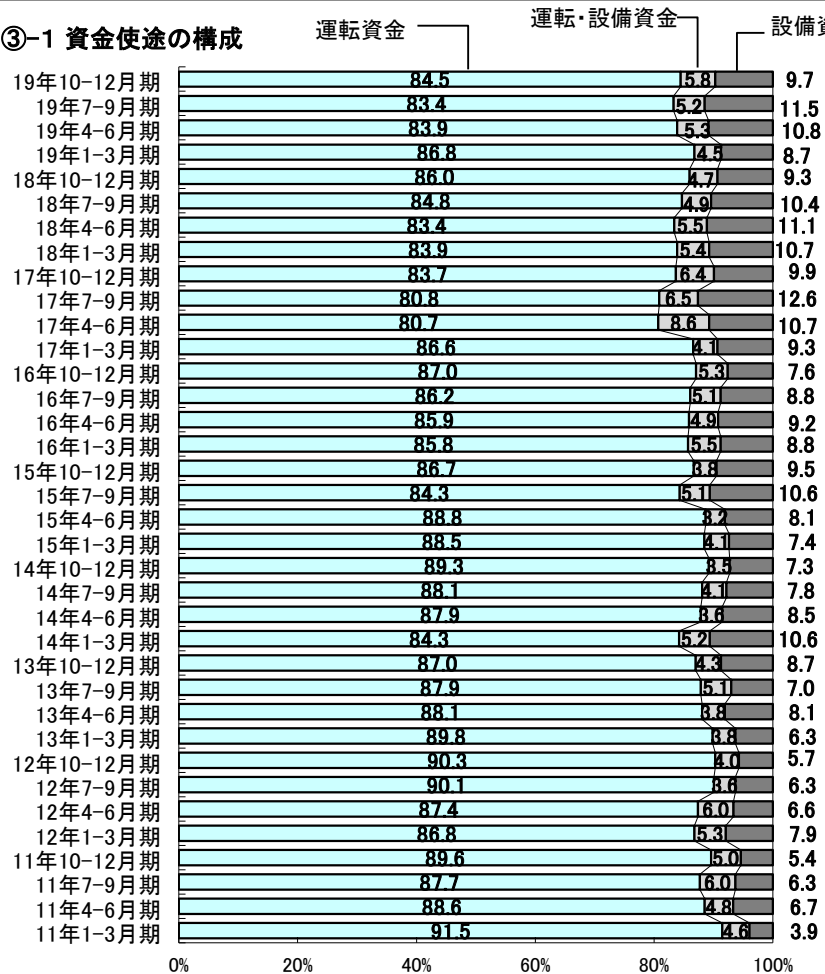
	2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
1千万円以下	41.5	41.7	43.5	40.6	42.5
1千万円超～5千万円	42.9	44.4	41.8	45.1	42.4
5千万円超	14.6	14.2	14.7	15.1	13.9



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

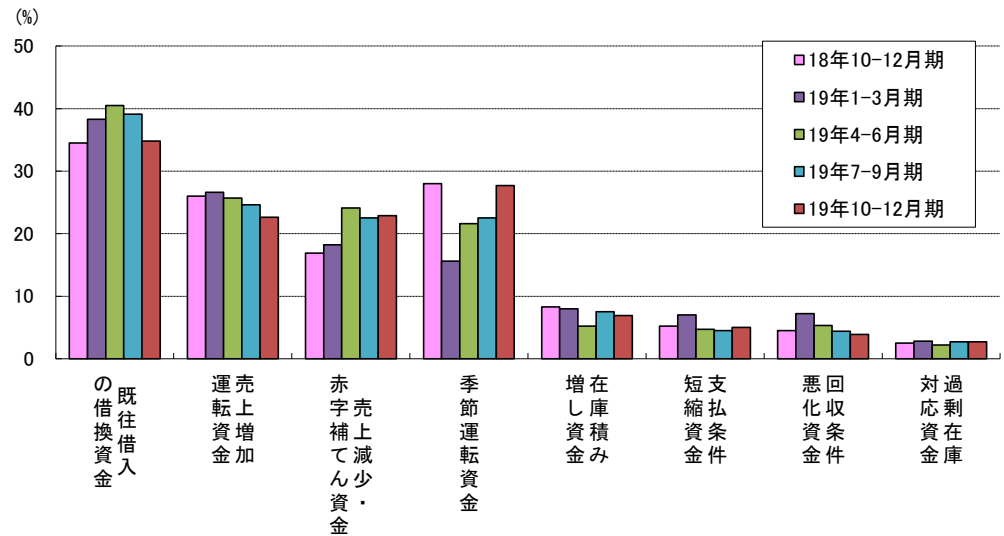
・資金使途については、運転資金はやや増加した。設備資金については、9.7%とやや減少したものの、引き続き高い水準となっている。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既借借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
19年	10-12月期	34.8	22.6	22.9	27.7	6.9	5.0	3.9
	7-9月期	39.1	24.6	22.5	22.5	7.5	4.5	2.7
	4-6月期	40.5	25.7	24.1	21.6	5.2	4.7	2.2
	1-3月期	38.3	26.6	18.2	15.6	8.0	7.0	2.8
18年	10-12月期	34.5	26.0	16.9	28.0	8.3	5.2	2.5



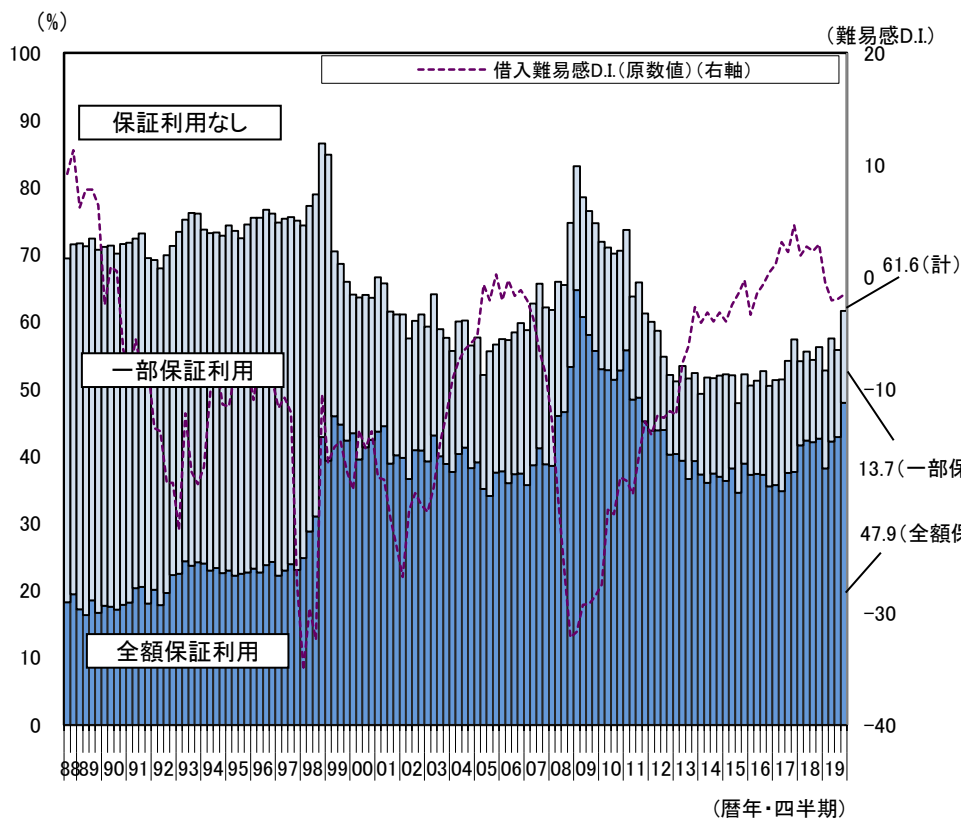
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、増加した。保証利用割合別にみると、「全額利用」は増加した一方、「一部利用」は横ばいとなった。

	2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
保証利用企業の割合	56.2	52.7	57.5	55.8	61.6
全額利用	42.6	38.1	42.2	42.8	47.9
一部利用	13.6	14.6	15.3	13.0	13.7
保証利用がない企業の割合	43.8	47.3	42.5	44.2	38.4

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

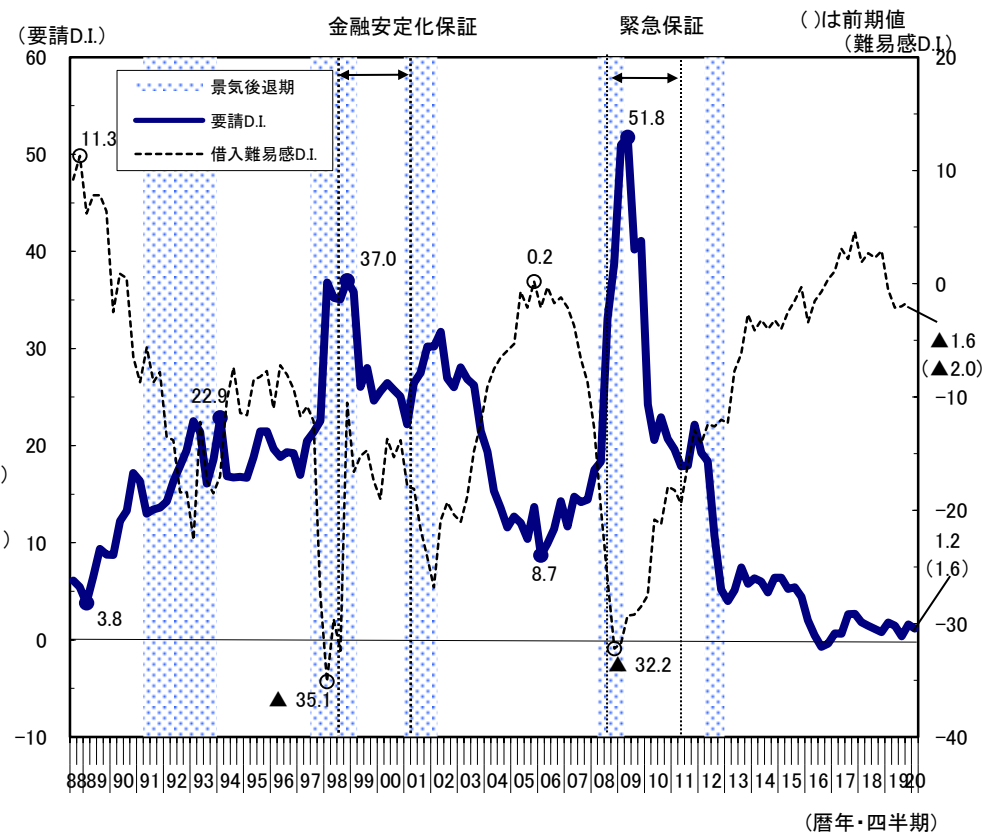
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(20年1~3月)における保証利用要請D.I.は、1.2と横ばいとなった。

		2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12	2020/1-3
要請D.I.	見通し	0.8	1.8	1.5	0.4	1.6	1.2
借入難易感D.I.	実績	2.9	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 2.0	▲ 1.6	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲15.1とマイナス幅が拡大した。

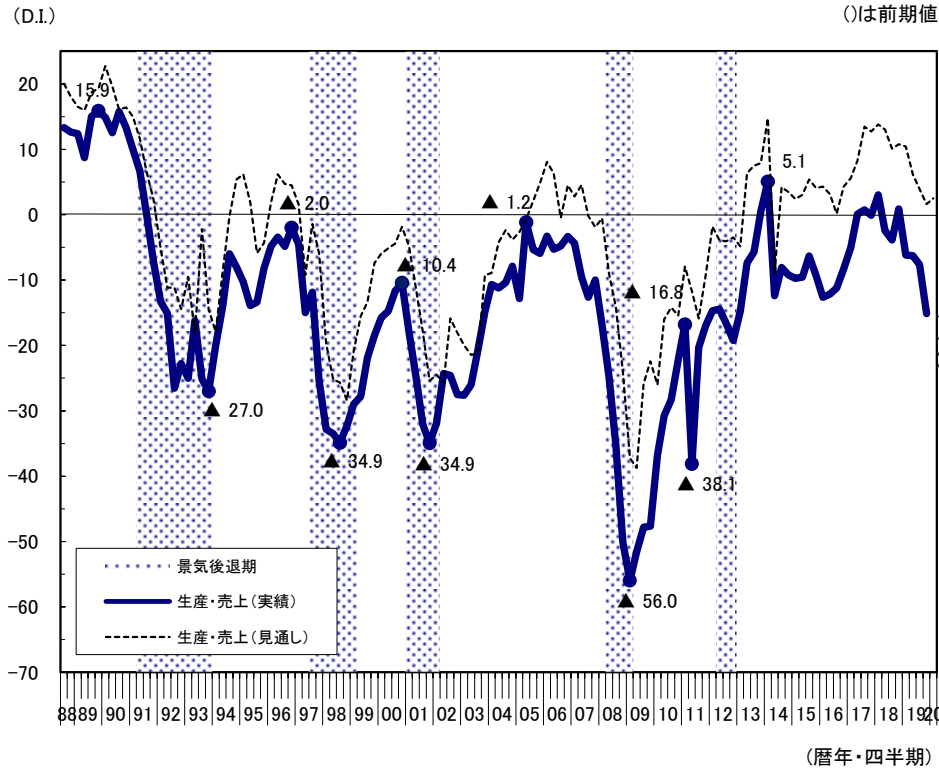
		2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12	2020/1-3
生産・売上D.I.	実績	0.9	▲6.2	▲6.2	▲7.6	▲15.1	
	見通し	10.7	10.4	6.1	3.9	1.6	2.5

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

生産・売上（業種別）

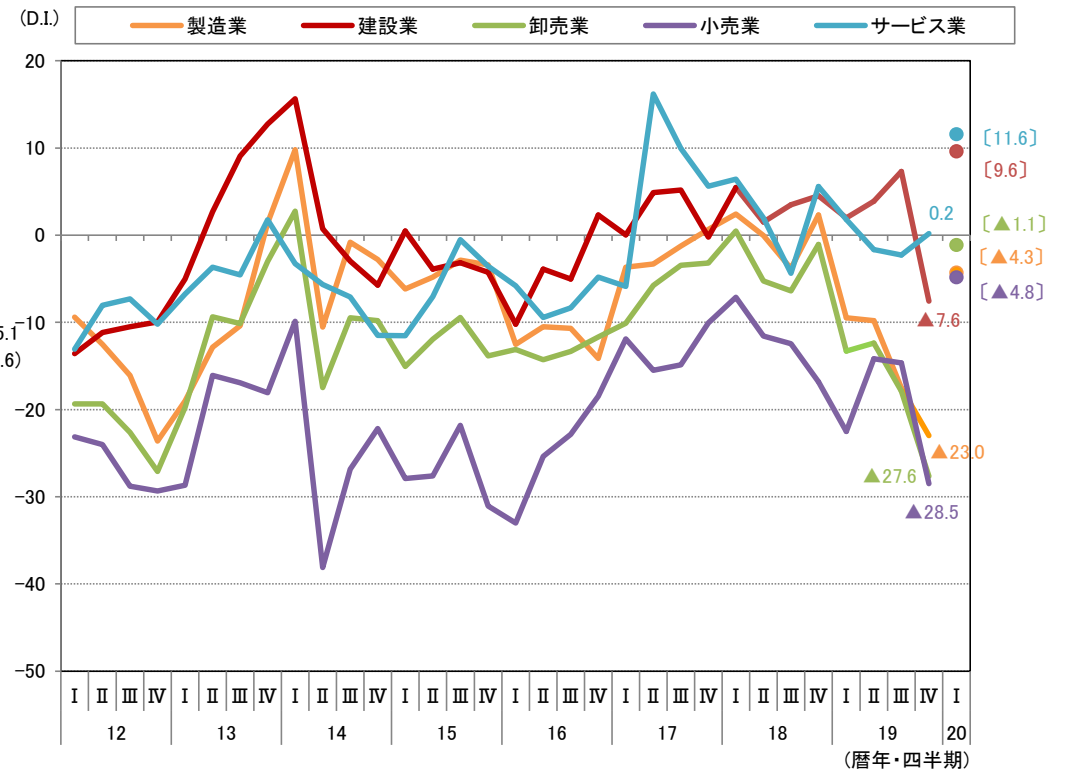
- ・生産・売上げD.I.(業種別)は、サービス業がプラスに転じる一方、建設業がマイナスに転じた。また、製造業、卸売業及び小売業はマイナス幅が拡大した。
- ・来期(1~3月)の見通しは、全ての業種で改善を見込んでいる。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移

()は来期見通し(当期比)



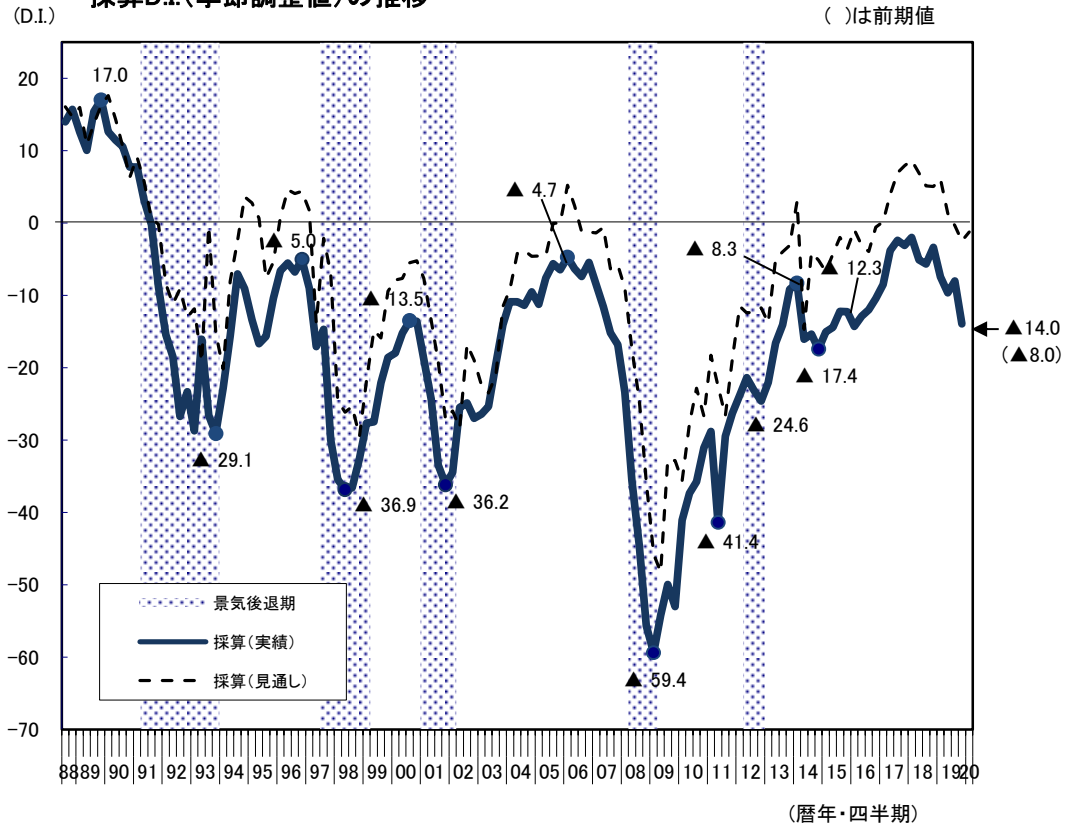
(6) 採算

・採算D.I.は、▲14.0とマイナス幅が拡大した。

	2018/10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12	2020/1-3
採算D.I.	実績	▲ 3.4	▲ 7.4	▲ 9.7	▲ 8.0	▲ 14.0
	見通し	5.0	6.1	1.3	▲ 0.3	▲ 2.5

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が62.7%と横ばい。

